

良質な医療を提供し、信頼される病院に

# 川崎病院 通信

川崎病院通信を  
リニューアルしました!



特集  
広報室がインタビュー!

## 川崎病院の レスパイト入院って?



2025.MAY Vol. 46



川崎病院の屋上から(南向き)

### ◆ 病院長より新年度のご挨拶

### ◆ 新入職医師のご紹介

新たに常勤医師 3 名、専攻医 9 名  
初期研修医 3 名が入職しました

# 院長より ご挨拶

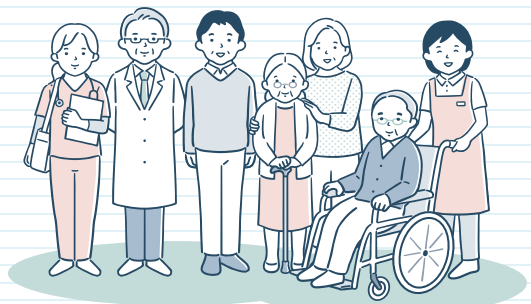
病院長 西村 元延



新年度を迎え、皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、連携登録医の先生方をはじめ、医師会、歯科医師会、薬剤師会の皆さま、訪問看護や介護に携わっておられる皆さまには、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。また、本年3月より開始したクラウドファンディング「みんなの救急車プロジェクト」にご理解、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は一段落したものの医療を取り巻く環境が厳しいことに変わりが無い状況ではありますが、新年度も引き続き、チーム一丸となって質の高い医療を提供し、安心と安全の医療をとおして地域社会に貢献していく所存です。

今年度も、連携登録医の先生方、地域の医療機関の皆さまとともに、この地域の医療に貢献できますよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



特集

## 広報室がインタビュー！

# 川崎病院の レスパイト入院って？

在宅介護をされているご家族にとって、一時的な休息は心身の健康を保つうえで不可欠です。川崎病院では、患者さん本人の療養だけでなく、患者さんを支えるご家族の負担の軽減や不安の解消も重要と考え、レスパイト入院を受け入れています。今回は、レスパイト入院に関わる3名の看護師にインタビューを行いました！

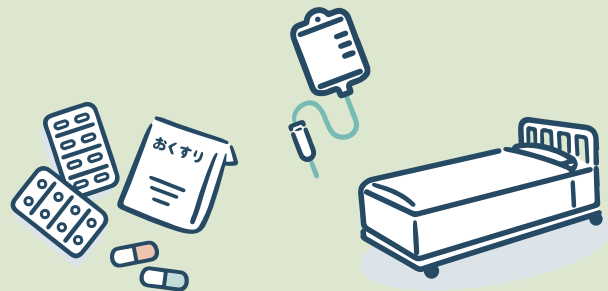


### 川崎病院ではレスパイト入院を受け入れしていると聞きましたが、どんな方が対象でしょうか？

在宅療養されていて、医療的なケアが必要な方を対象としています。胃ろうなど経管栄養を実施している方や、人工呼吸器を装着されている方などの医療依存度が高い患者さんも受け入れています。

### レスパイト入院では、主にどのようなことを行いますか？

主にリハビリと在宅療養支援です。リハビリを通じて身体機能の低下を予防することで、ご自宅での転倒防止や介護量の軽減を目指し、退院後も安心してご自宅で生活を継続していただけるよう在宅療養支援にも力を入れています。



患者支援センター  
地域医療連携室 主任  
西田看護師



救急総合ケア  
推進本部副部長 兼  
病床管理室 室長  
金井看護師



副看護部長 兼  
病棟マネージャー  
林田看護師



### レスパイト入院では、できることが限られているイメージがありますが、川崎病院ならではの特徴はありますか？

入院に際しては「病院の規則」を守ってくださいというのが原則ですが、川崎病院では可能な範囲で「ご自宅でのルール」に対応したいと思っています。例えばBPSD※のため、なかなか入院に至らなかった認知症患者さんを、川崎病院では受け入れてもらえると言っていたことがあります。

※BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) : 認知症の行動・心理症状

### なぜ受け入れることができるのでしょうか？

認知症患者さんが入院される際には、認知症チームの介入があるのですが、認知症チームからの手厚いサポートがあることが理由の一つだと思っています。あとは、病院の文化として、患者さんに「寄り添う」という精神が根付いていて、チーム医療を実践できているからかもしれません。患者さんのご家族にもひとりで抱え込まずに、私たちに大切なご家族を預けていただければと思っています。

### 家族単位で支援をされているんですね。入院前にご家族とお話される機会はありますか？

初めてレスパイト入院を利用されるときは、患者さんの病状や身体機能、認知機能などを確認させていただくために、ご家族の希望に応じて事前面談をしています。患者さんが普段どのような生活を送られているのかを把握しておくことは、適切なケアをするうえで大切です。

### 利用申込において、注意することなどありますか？

原則2週間ほど前までにご連絡ください。緊急の場合は当日でも空き病床があれば対応可能ですが、14時頃までに入院していただきたいので午前中にご連絡いただくと助かります。

コロナウイルスやインフルエンザなど感染症流行時は、受け入れをお断りさせていただくこともあります。また、徘徊、暴力行為、セクハラ行為がある場合は受け入れが難しい場合があります。

#### レスパイト入院相談窓口

地域医療連携室 看護師 西田 078-511-3131(代表)

### 川崎病院通信をご覧いただいている医療・介護従事者の皆さんにメッセージをどうぞ。

私たちは、救急総合ケアシステムの構築の一環として、地域医療への貢献を目指し、急性期病院としての機能を維持しつつ、レスパイト入院の受け入れも積極的に行っていきたいと考えています。

レスパイト入院を希望される場合は、まずはお気軽にご相談ください。地域全体で患者さんを支える体制を構築していきましょう！

### 「救急総合ケアシステム」ってなに？

川崎病院は、「救急総合ケアシステム」の確立を目指しています。救急総合ケアシステムとは、地域の医療機関や介護施設と連携し、高齢者の方々に対して救急医療、在宅医療、入院医療を切れ目なく提供するシステムです。この仕組みは、多職種連携を円滑にし、医療・介護従事者が安心してそれぞれの専門性を発揮でき、医療・介護従事者が専門性を活かせる環境を整えるだけでなく、患者さんを支えるご家族へのケアも重視し、地域全体で高齢者を支える体制づくりを目指します。



# 新入職医師のご紹介

## 常勤医師



整形外科部長  
堀之内 豊

**専門分野** 整形外科、脊椎外科、  
関節外科

5年間非常勤として皆さまのお世話になりながらやってきました。このたび常勤として勤務することになりました。脊椎を専門とはしていますが、その他もできる限り守備範囲を広くしているつもりです。地域に密着してがんばっていこうと思います。よろしくお願いします。



循環器内科部長・  
血管内治療科部長  
今仲 崇裕

**専門分野** 虚血性心疾患、  
冠動脈インターベンション

4月に赴任した今仲 崇裕と申します。虚血性心疾患に対する冠動脈インターベンションを専門に長らく大学病院で勤務してまいりました。地域の皆さまのお役に立てるよう誠心誠意努めてまいります。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



外科医長  
光藤 傑

**専門分野** 消化器外科

4月より診療させていただきます光藤 傑と申します。米国での留学を経て帰国し、外科診療に従事しております。肛門疾患やヘルニアにも対応いたしますのでお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 専攻医

みき たかみつ  
三木 崇充

内科専攻医(3年目)  
循環器内科

あん さか まなと  
庵坂 学外

内科専攻医(3年目)  
呼吸器・緩和治療

おお やま ふみ や  
大山 文哉

内科専攻医(2年目)  
循環器内科・一般

ひがし ゆう き  
東 佑樹

内科専攻医(2年目)  
救急

みやけ ひろ ゆき  
三宅 博之

内科専攻医(1年目)  
糖尿病内分泌内科

すみ たに まこと  
住谷 允

内科専攻医(1年目)  
内科・糖尿病内分泌内科

もり かわ たか あき  
森川 貴章

内科専攻医(1年目)  
腎臓内科

えの もと まさ ひろ  
榎本 真大

総合診療専攻医(1年目)  
総合診療

やま おか ま り  
山岡 茉莉

総合診療専攻医(1年目)  
総合内科

## 初期研修医

ひぐち あや こ つじもと ゆう ばん こう たろう  
樋口 絢子 / 辻本 優 / 坂 康太郎

所属学会や保有資格などの  
詳細なプロフィールにつきましては、  
ホームページからご覧いただけます。



## 「みんなの救急車プロジェクト」活動報告

川崎病院は、「みんなの救急車プロジェクト」と題し、2025年3月10日から5月30日までクラウドファンディングに挑戦しています。皆さまからの温かいご支援により、おかげさまで第1目標を達成できました。現在は、第2目標の達成を目指し活動を継続中です。この場をお借りし、ご支援ならびに応援をいただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。

「地域の未来は、地域で守る」という思いを胸に、期間終了後も運用開始に向けた活動状況をご報告してまいります。引き続き、本プロジェクトの経過を見守っていただけますと幸いです。

みんなの救急車  
プロジェクト専用サイト  
活動報告ページ▼

